

東北地方太平洋沖地震（速報 ver.2）3/16 14:00

及び地すべり地形分布図の使用について

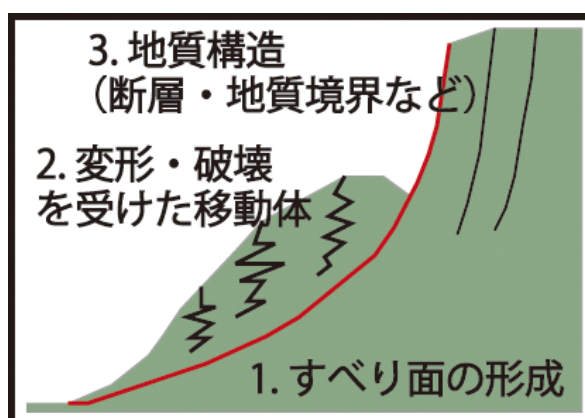
防災科学技術研究所 防災システム研究センター 土志田正二

3月16日11:00現在、防災科学技術研究所地すべり地形分布図ページが復旧致しました。震度6強以上を観測した3回の地震における震度分布(気象庁より引用)と、20万分の1図幅位置及び図幅名を重ね合わせた図を作成致しましたので、下記に示した地すべり地形分布図ホームページより、地すべり地形分布図の画像データ、GISデータをダウンロードし、土砂災害地域の抽出及び推定にお役立て下さい。本サイトの地すべり地形分布図では、**今回の地震で起きた地すべりは含まれておりませんが**、過去に地すべりが起きた場所は他の地域に比べて土砂災害が起こりやすいという観点から、今回の土砂災害発生位置の抽出、空撮位置の選別、今後の余震に対する土砂災害危険地域の推定等にお使い下さい。

地すべり地形分布図ホームページ

<http://lsweb1.ess.bosai.go.jp/>

過去地すべりが発生した地域・及び周辺で土砂災害が起こりやすい理由



1. すべり面が形成されている
2. 変形，破壊を受けた移動体は更に壊れやすい
3. すべり面が形成しやすい地質構造を持っている など

・気象庁 推定震度分布図(震度5弱以上を観測した場合に発表) 利用の留意事項

地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地盤の違いなどにより1階級程度異なることがあります。また、このほか震度を推計する際にも誤差が含まれますので、推計された震度と実際の震度が1階級程度ずれることがあります。このため、**個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目**してご利用下さい。

表 1. 3/11 14:46 の地震以降の震度 5 弱以上を観測した地震一覧
 (3/11 の 14:26[0311_1426 と表記] に発生した三陸沖の地震は M9.0 と発表されていますが、
 引用元の気象庁データをそのまま使用しております。 [0311_2037]の岩手県沖の地震は、
 tenki.jp において、最大震度 5 弱とのデータもありましたので、念のため記載しておきます。)

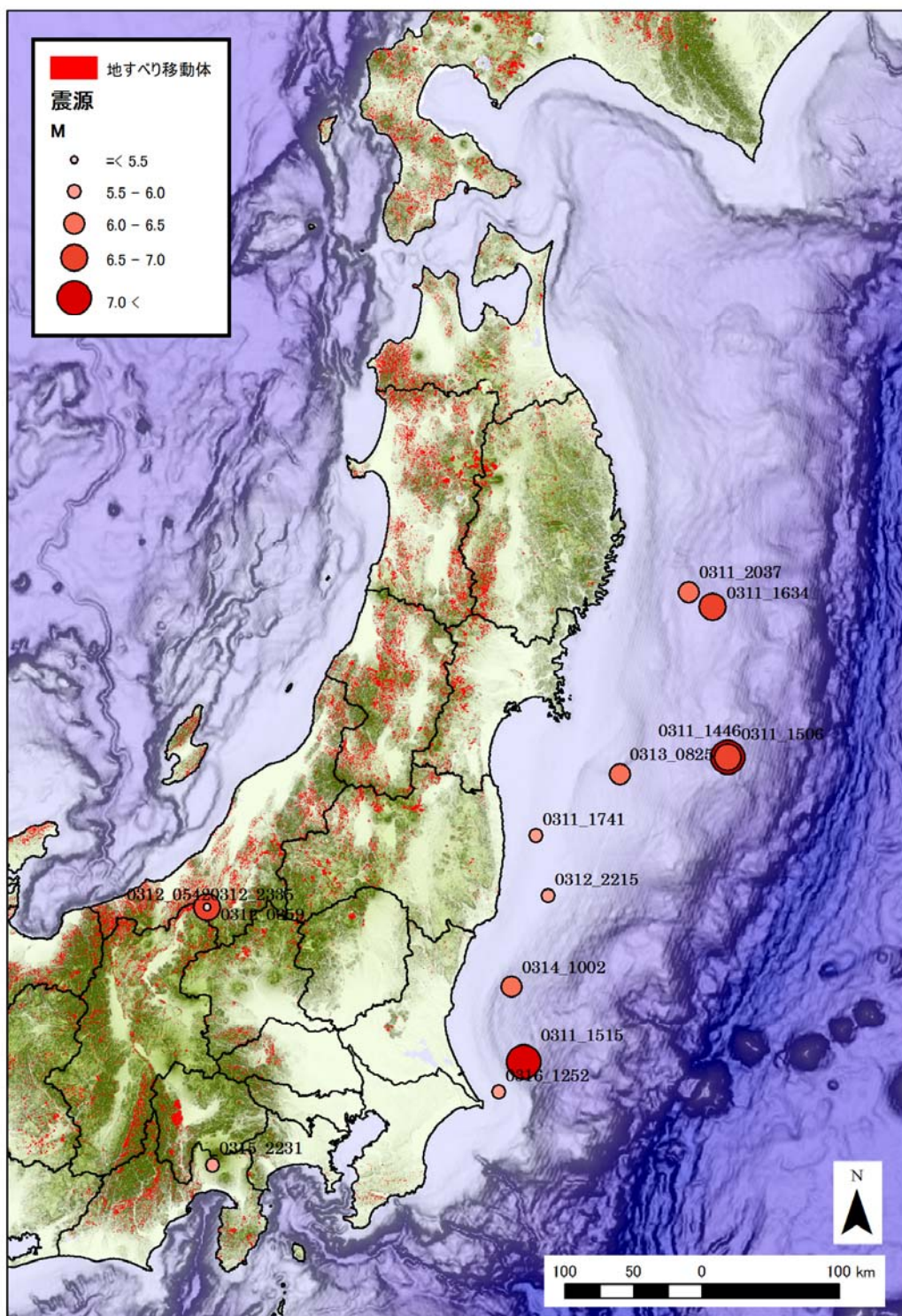
Day_Time	Loc.	M	N	E	Depth	最大震度
0311_1446	三陸沖	7.9	38	142.9	10	7
0311_1506	三陸沖	7	38	142.9	10	5 弱
0311_1515	茨城県沖	7.4	36	141.2	80	6 弱
0311_1634	三陸沖	6.6	39	142.8	ごく浅い	5 強
0311_1741	福島県沖	5.8	37.5	141.3	30	5 強
0311_2037	岩手県沖	6.4	39.1	142.6	30	4
0312_0359	新潟県中越地方	6.6	37	138.6	10	6 強
0312_0542	新潟県中越地方	5.3	37	138.6	ごく浅い	6 弱
0312_2215	福島県沖	6	37.1	141.4	40	5 弱
0312_2335	新潟県中越地方	4.4	37	138.6	10	5 弱
0313_0825	宮城県沖	6.2	37.9	142	10	5 弱
0314_1002	茨城県沖	6.2	36.5	141.1	10	5 弱
0315_2231	静岡県東部	6	35.3	138.7	10	6 強
0316_1252	千葉県東方沖	6	35.8	141	10	5 弱

青枠：図 2, 3, 4 の対象地震

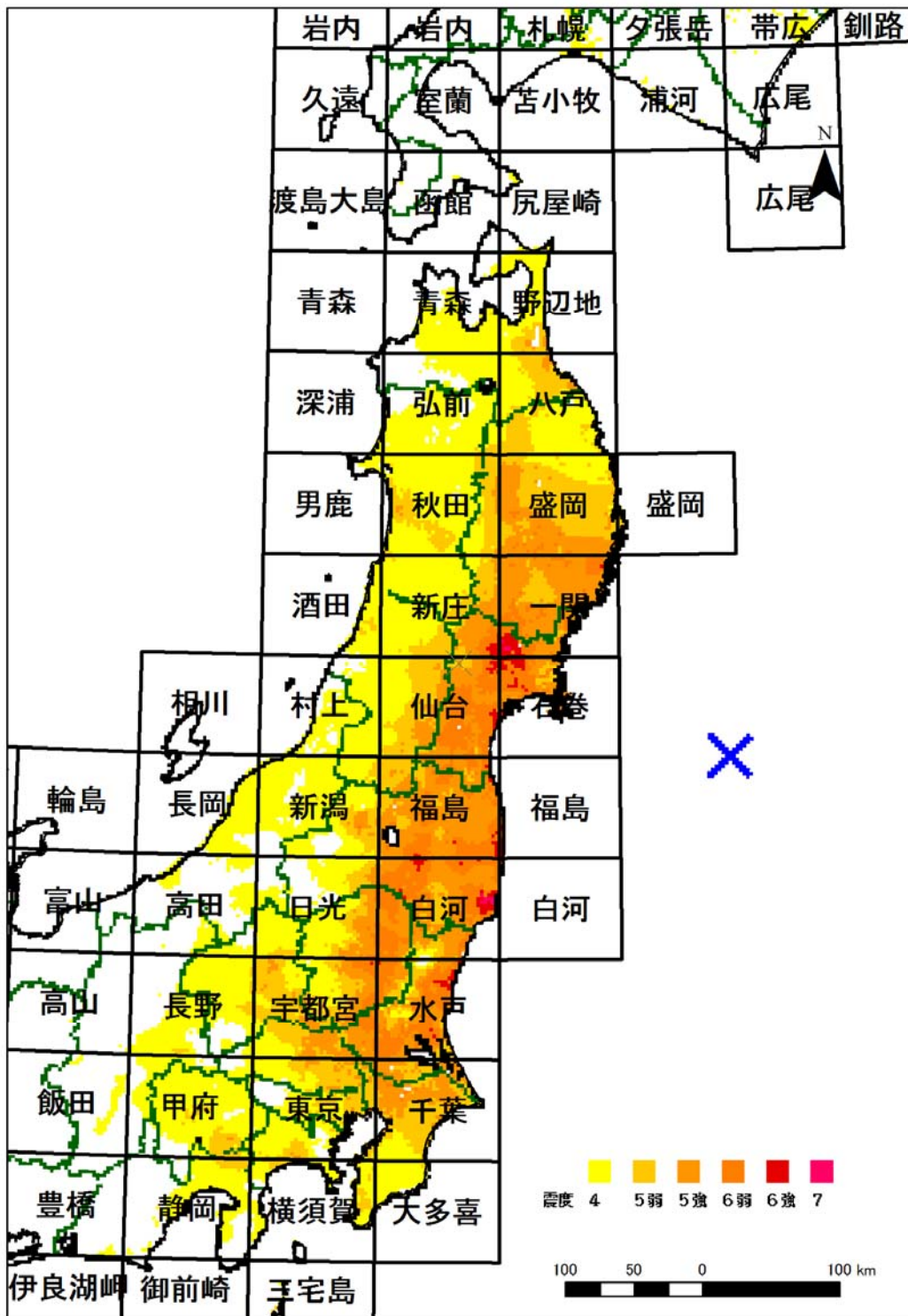
Day_Time 欄

赤字： 気象庁 推進震度分布図より引用 (震源位置は tenki.jp より引用)

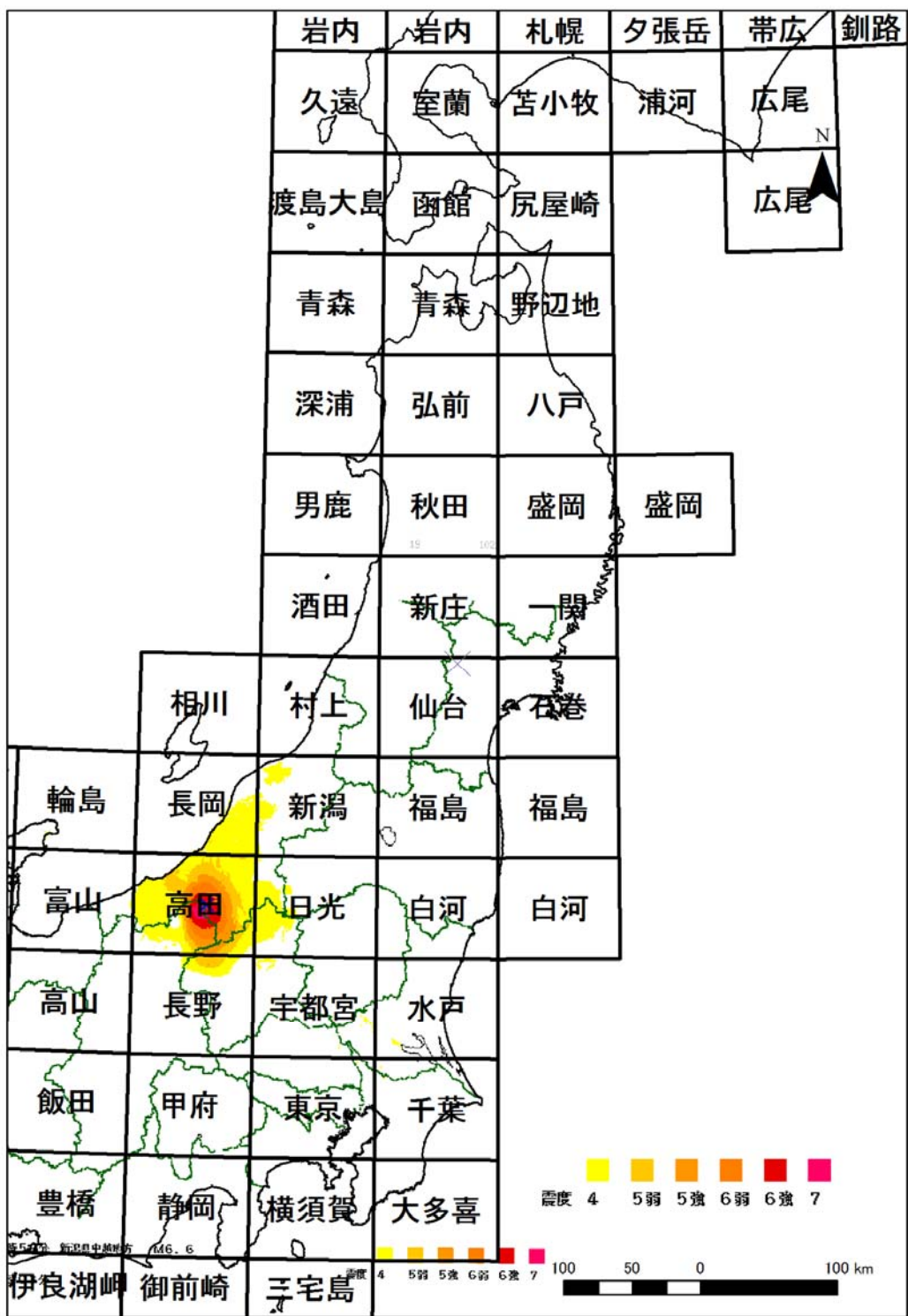
黒字： tenki.jp より引用



・図1 震度5弱以上のゆれを起こした地震震源位置(表1参照)と地すべり移動体(赤色)との重ね合わせ.



・図2 3月11日14:46に発生した三陸沖を震源とする地震の震度分布図(震度4以上)



・ 図 3 3月12日 03:59 新潟県中越地方を震源とする地震の震度分布図(震度4以上)

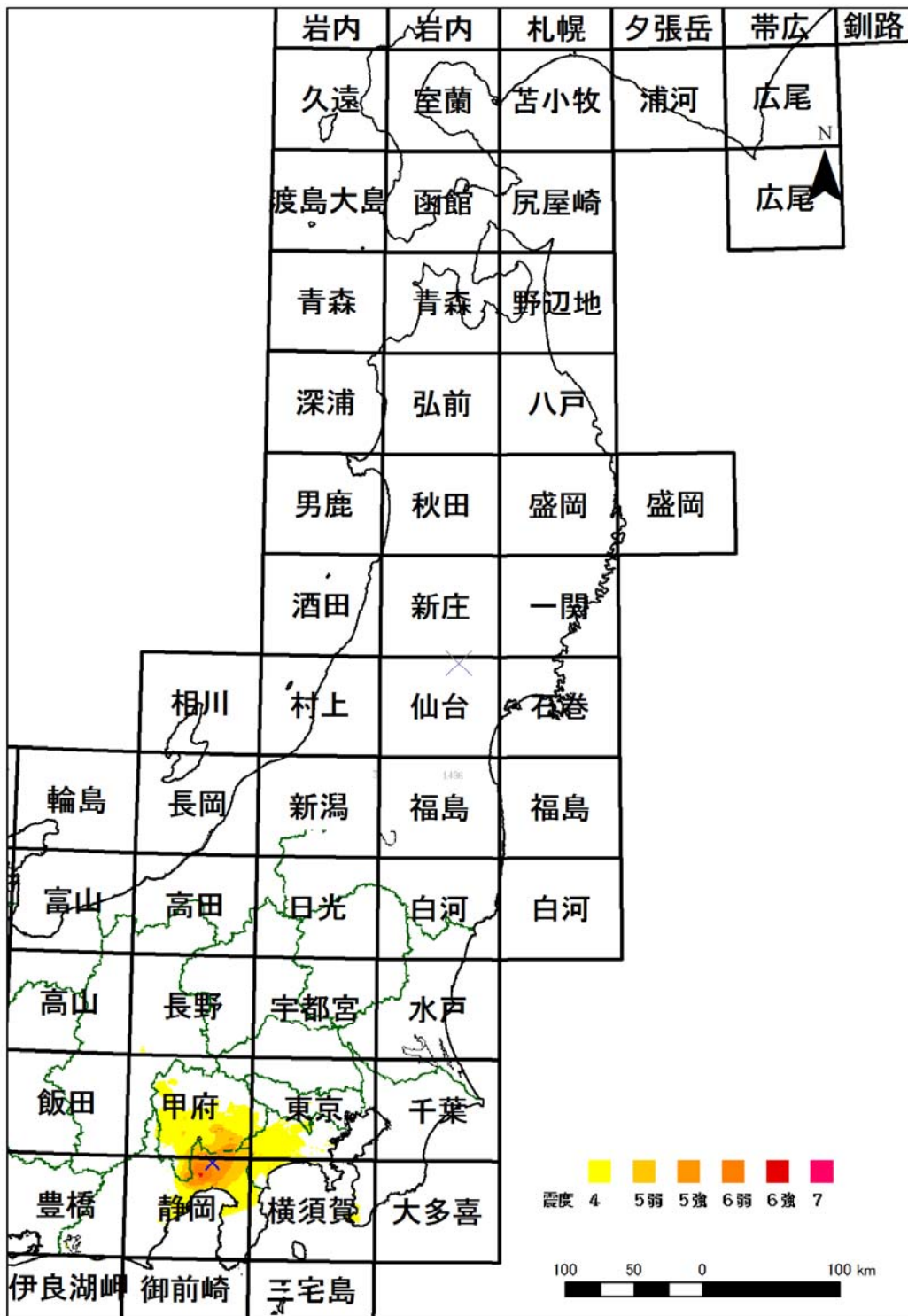
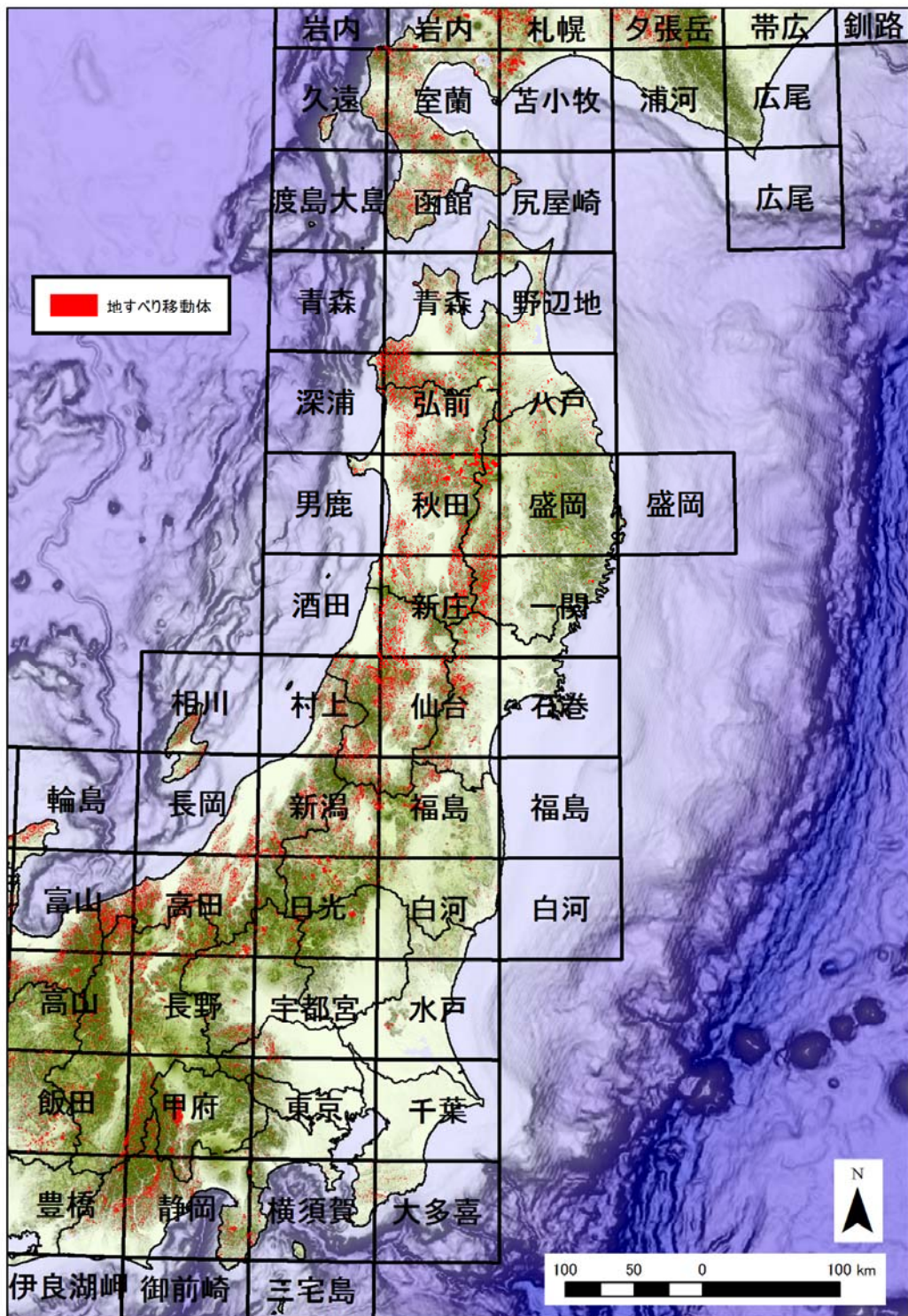


図4 3月15日 22:31 に発生した静岡県東部を震源とする地震の震度分布図(震度4以上)



・図5 20万分の1図幅枠と地すべり地形分布図 (Webで公開している地図は1/50000の縮尺の高解像度で見ることができます)

データ引用先

- ・ 防災科学技術研究所 地すべり地形分布図
- ・ 気象庁 推定震度分布図(震度 5 弱以上を観測した場合に発表)

< 推定震度分布図利用の留意事項 >

地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地盤の違いなどにより 1 階級程度異なることがあります。また、このほか震度を推計する際にも誤差が含まれますので、推計された震度と実際の震度が 1 階級程度ずれることがあります。このため、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目してご利用下さい。

- ・ [tenki.jp http://tenki.jp/earthquake/](http://tenki.jp/earthquake/)

本速報、及び地すべり地形分布図に関する質問・疑問等ありましたら、防災科学技術研究所防災システム研究センター土志田正二 [sdoshida@bosai.go.jp]までご連絡お願い致します。